

北陸地域の総合経済動向 (2025年7月指標を中心として)

2025年9月24日

経済産業省 中部経済産業局
電力・ガス事業北陸支局

- 注) 1. 比較は、断りのあるものを除き、2025年7月実績値による。
2. 「P」は、速報値。
3. 「北陸地域」とは、富山、石川及び福井の3県を指す。
4. 前月比および前年同月比は、増減率(%)。

次回公表予定日 2025年10月22日(水曜日)

(お問合せ先)

中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局

北陸経済企画調査室長 野村

担当：藤木、土田

電話：076-432-5590 (直通)

北陸地域の総合経済動向 (2025年7月指標を中心として)

北陸地域の経済動向は、持ち直しの動きに弱さがみられる。

総括判断は、2025年2月発表以来、8か月連続。

- 生産は、弱い動きとなっている。
- 個人消費は、緩やかに改善している。
- 設備投資は、全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている。
- 公共投資は、請負金額が15か月連続で前年を上回る。
- 住宅投資は、新設住宅着工戸数は4か月連続で前年を下回る。
- 貿易は、輸出は4か月連続で前年を下回り、輸入は2か月ぶりに前年を下回る。
- 雇用は、新規求人数は2か月連続で前年を上回り、有効求人倍率は前月と同値であった。
- 企業倒産は、企業倒産件数は4か月連続で前年を上回る。

先行きについては、能登半島地震・奥能登豪雨、米国の関税措置、海外景気の動向、為替、エネルギー・原材料価格、商品価格の動向等による影響などを注視していく必要がある。

判断の推移

公表年		2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	2025年
公表月日		4月22日	5月22日	6月23日	7月24日	8月22日	9月24日
実績月		2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月
総括判断		持ち直しの動きに弱さがみられる (3か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (4か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (5か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (6か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (7か月連続)	持ち直しの動きに弱さがみられる (8か月連続)
生産 (総合)		弱含んでいる (3か月連続)	<u>弱い動きとなっている</u> (↓)	弱い動きとなっている (2か月連続)	弱い動きとなっている (3か月連続)	弱い動きとなっている (4か月連続)	弱い動きとなっている (5か月連続)
生産の 主要業種の 判断推移	◎化学工業	横ばい (5か月連続)	横ばい (6か月連続)	横ばい (7か月連続)	横ばい (8か月連続)	横ばい (9か月連続)	横ばい (10か月連続)
	◎電子部品・デバイス工業	弱い動き (3か月連続)	<u>後退の動き</u> (↓)	後退の動き (2か月連続)	後退の動き (3か月連続)	後退の動き (4か月連続)	後退の動き (5か月連続)
	◎生産用機械工業	弱含み (2か月連続)	弱含み (3か月連続)	弱含み (4か月連続)	<u>持ち直しの動き</u> (↑)	持ち直しの動き (2か月連続)	持ち直しの動き (3か月連続)
	◎金属製品工業	<u>弱い動き</u> (↓)	弱い動き (2か月連続)	弱い動き (3か月連続)	弱い動き (4か月連続)	弱い動き (5か月連続)	弱い動き (6か月連続)
	◎繊維工業	下げ止まり (10か月連続)	下げ止まり (11か月連続)	下げ止まり (12か月連続)	下げ止まり (13か月連続)	下げ止まり (14か月連続)	下げ止まり (15か月連続)
個人消費		緩やかに改善している (11か月連続)	緩やかに改善している (12か月連続)	緩やかに改善している (13か月連続)	緩やかに改善している (14か月連続)	緩やかに改善している (15か月連続)	緩やかに改善している (16か月連続)

(注) 下線部は、先月からの変更箇所。

動向の推移

公表年		2025年	2025年	2025年	2025年	2025年	2025年
公表月日		4月22日	5月22日	6月23日	7月24日	8月22日	9月24日
実績月		2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月
需要の動向	◎設備投資	全産業、非製造業は前年度を上回り、製造業は前年度を下回る計画となっている	全産業、非製造業は前年度を上回り、製造業は前年度を下回る計画となっている	全産業、非製造業は前年度を上回り、製造業は前年度を下回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている	全産業、製造業、非製造業において前年度を上回る計画となっている
	◎公共投資	請負金額は10か月連続で前年を上回る	請負金額は11か月連続で前年を上回る	請負金額は12か月連続で前年を上回る	請負金額は13か月連続で前年を上回る	請負金額は14か月連続で前年を上回る	請負金額は15か月連続で前年を上回る
	◎住宅投資	新設住宅着工戸数は6か月連続で前年を上回る	新設住宅着工戸数は7か月連続で前年を上回る	新設住宅着工戸数は8か月ぶりに前年を下回る	新設住宅着工戸数は2か月連続で前年を下回る	新設住宅着工戸数は3か月連続で前年を下回る	新設住宅着工戸数は4か月連続で前年を下回る
	◎貿易	輸出は2か月ぶりに前年を下回り、輸入は5か月連続で前年を上回る	輸出は2か月ぶりに前年を上回り、輸入は6か月連続で前年を上回る	輸出は2か月ぶりに前年を下回り、輸入は7か月連続で前年を上回る	輸出は2か月連続で前年を下回り、輸入は8か月ぶりに前年を下回る	輸出は3か月連続で前年を下回り、輸入は2か月ぶりに前年を上回る	輸出は4か月連続で前年を下回り、輸入は2か月ぶりに前年を下回る
	◎雇用	新規求人数は2か月ぶりに前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった	新規求人数は2か月連続で前年を下回り、有効求人倍率は前月から上昇した	新規求人数は3か月ぶりに前年を上回り、有効求人倍率は前月から上昇した	新規求人数は2か月ぶりに前年を下回り、有効求人倍率は前月と同値であった	新規求人数は2か月ぶりに前年を上回り、有効求人倍率は前月と同値であった	新規求人数は2か月連続で前年を上回り、有効求人倍率は前月と同値であった
	◎企業倒産	企業倒産件数は5か月ぶりに前年を下回る	企業倒産件数は前年と同数となった	企業倒産件数は3か月ぶりに前年を上回る	企業倒産件数は2か月連続で前年を上回る	企業倒産件数は3か月連続で前年を上回る	企業倒産件数は4か月連続で前年を上回る

1. 生産

生産は、弱い動きとなっている。

鉱工業生産の動向を指数（7月速報）でみると、化学工業（医薬品）、生産用機械工業（繊維機械）などが増加したことから、前月比2.4%増と2か月ぶりに上昇となった。

前年同月比は3.1%減と6か月連続で前年を下回った。

主要業種の動向をみると、化学工業は、後発医薬品の需要が堅調に推移していることから横ばいとなっている。電子部品・デバイス工業は、自動車向けが振るわず後退の動きとなっている。生産用機械工業は、海外向け中心に堅調に推移し持ち直しの動きがみられる。金属製品工業は、アルミニウムサッシなどが振るわず弱い動きとなっている。繊維工業は、海外向けが堅調なことなどから下げ止まりとなっている。以上のことから、判断を据置き5か月連続で「弱い動きとなっている」とした。

1. 生産

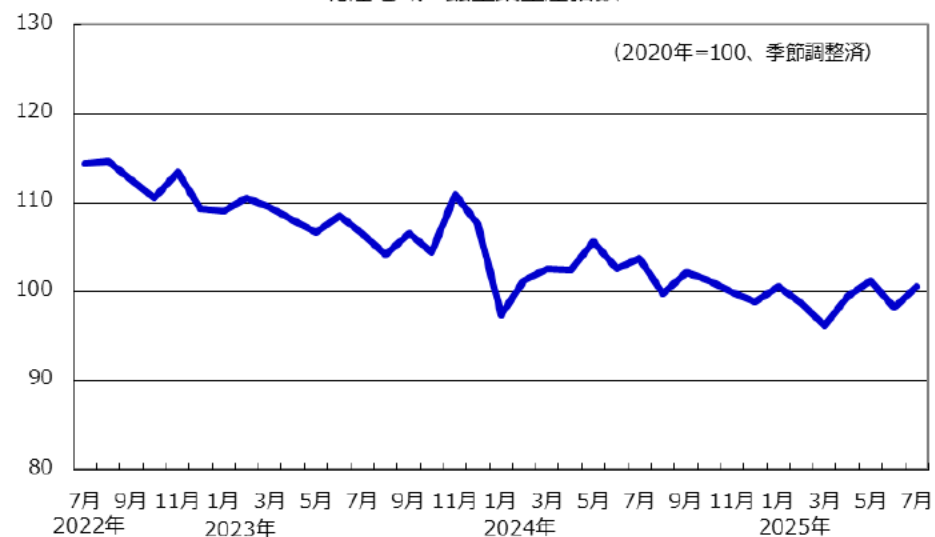
北陸地域

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 6月	2025年 7月p		2025年 7月p	
98.2	100.6	2.4	106.4	▲ 3.1

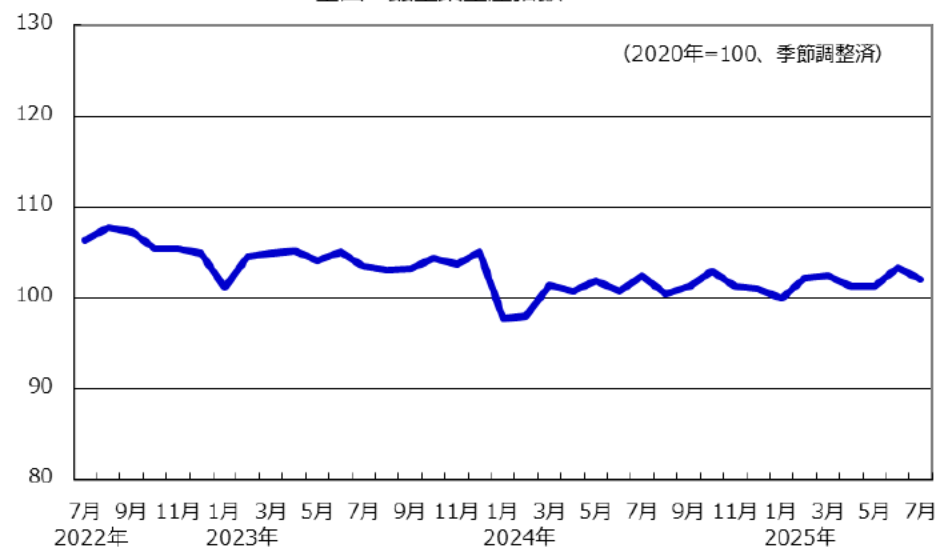
全国

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 6月	2025年 7月		2025年 7月	
103.3	102.1	▲ 1.2	107.4	▲ 0.4

北陸地域 鉱工業生産指数



全国 鉱工業生産指数



1. 生産

(1) 化学工業

医薬品などが増加したことから、前月比は7.6%増と4か月ぶりに上昇。

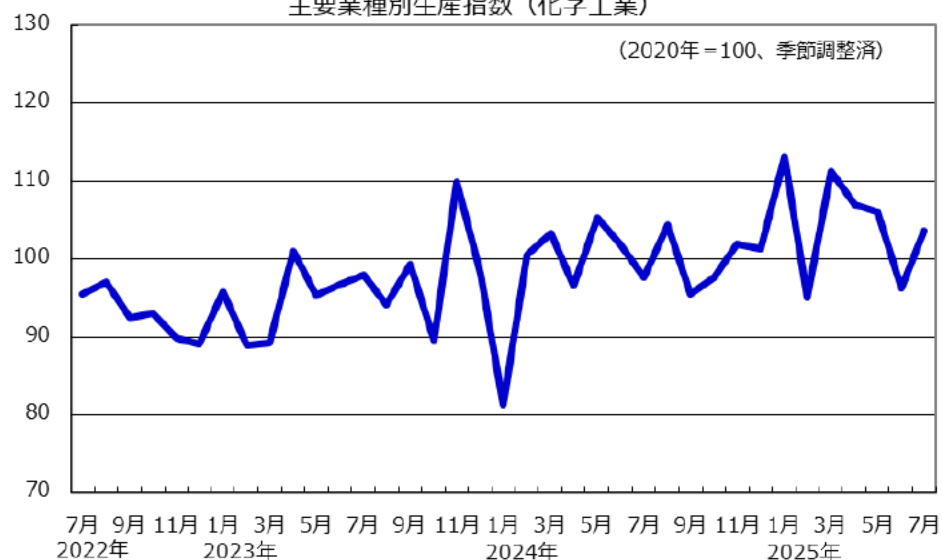
季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 6月	2025年 7月p		2025年 7月p	
96.3	103.6	7.6	114.0	6.0

(2) 電子部品・デバイス工業

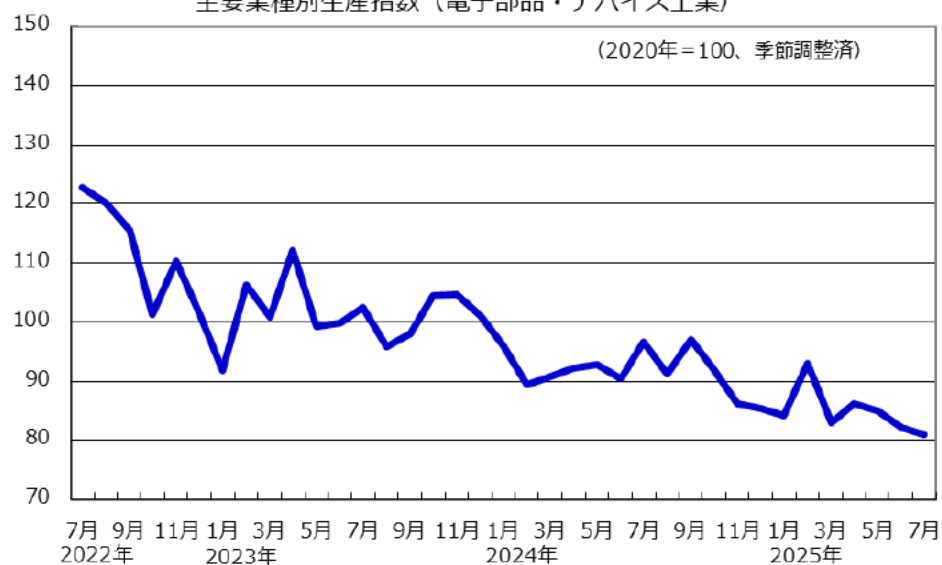
電子回路が減少したことから、前月比は1.3%減と3か月連続で低下。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 6月	2025年 7月p		2025年 7月p	
82.1	81.0	▲ 1.3	92.6	▲ 16.2

主要業種別生産指数（化学工業）



主要業種別生産指数（電子部品・デバイス工業）



1. 生産

(3) 生産用機械工業

繊維機械などが増加したことから、前月比は7.5%増と2か月ぶりに上昇。

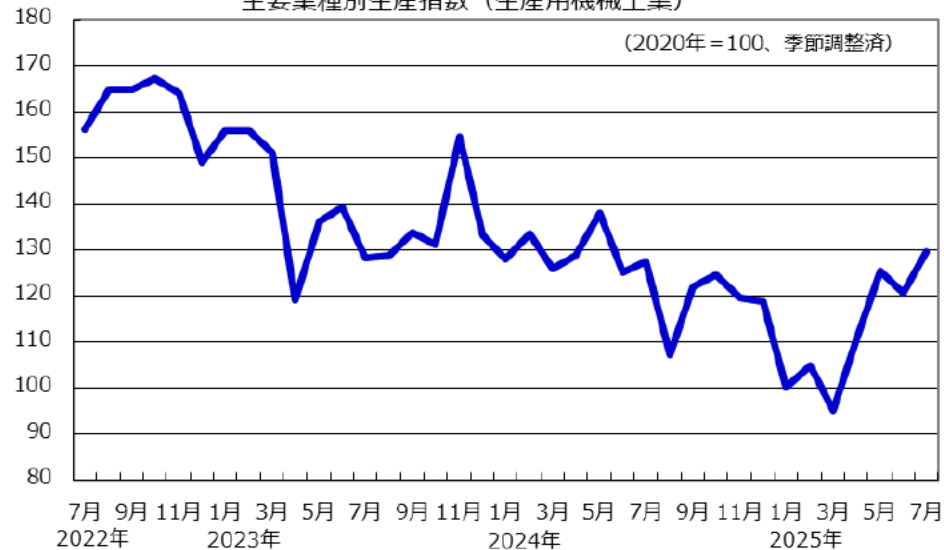
季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 6月	2025年 7月p		2025年 7月p	
120.6	129.6	7.5	120.1	1.6

(4) 金属製品工業

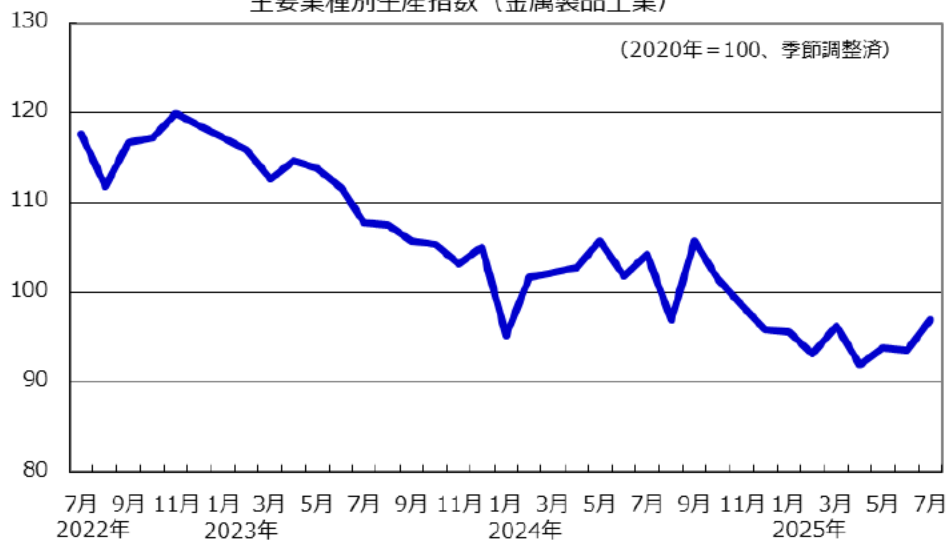
軽金属板製品などが増加したことから、前月比は3.7%増と2か月ぶりに上昇。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 6月	2025年 7月p		2025年 7月p	
93.5	97.0	3.7	103.0	▲ 6.9

主要業種別生産指数（生産用機械工業）



主要業種別生産指数（金属製品工業）

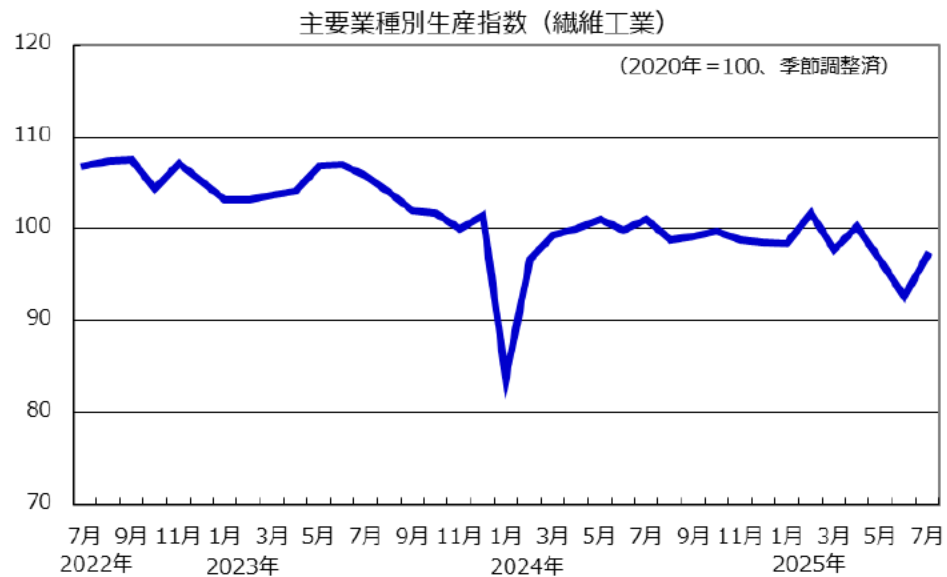


1. 生産

(5) 繊維工業

繊維などが増加したことから、前月比は4.9%増と3か月ぶりに上昇。

季節調整済指数		前月比	原指数	前年 同月比
2025年 6月	2025年 7月p		2025年 7月p	
92.6	97.1	4.9	101.4	▲ 3.9



2. 個人消費

個人消費は、緩やかに改善している。

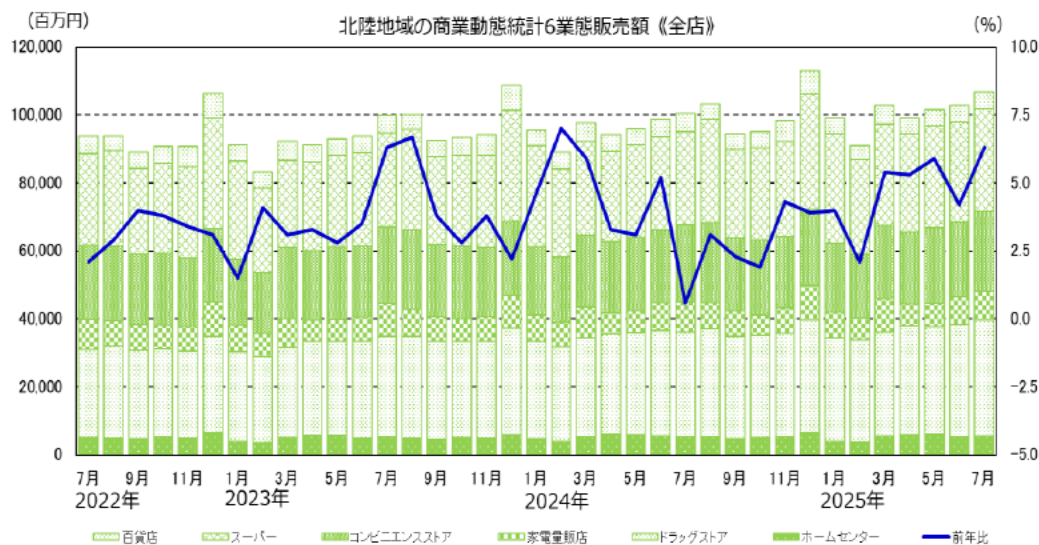
7月の商業動態統計小売6業態販売額（全店ベース（速報値））は、前年同月比6.3%増と41か月連続で前年を上回った。

百貨店は、免税売上減少で身の回り品が振るわず、スーパーは、飲食料品の値上げに加え、米の相場高の影響がみられ、コンビニエンスストアは、おにぎり、飲料、アイスクリームなどが好調、家電大型専門店は、携帯電話、パソコンが好調だったものの、前倒し販売の反動でエアコンが低調、ドラッグストアは、新規出店効果に加え、飲食料品が好調、ホームセンターは、冷房用品、給水用品、ファン付きウェアなど夏物商材が好調だった。

乗用車新規登録台数は、7か月ぶりに前年を下回った。新型車やモデルチェンジ車の市場投入が低調だった。

以上のことから、判断を据え置き16か月連続で「緩やかに改善している」とした。

7月速報値	販売額：百万円 （全店）	前年同月比（全店）
百貨店	4,928	▲ 5.8
スーパー	30,322	10.2
コンビニエンスストア	23,380	3.5
家電大型専門店	8,600	▲ 2.4
ドラッグストア	33,982	9.5
ホームセンター	5,581	5.9
合計	106,793	6.3



出所：中部経済産業局、近畿経済産業局、経済産業省

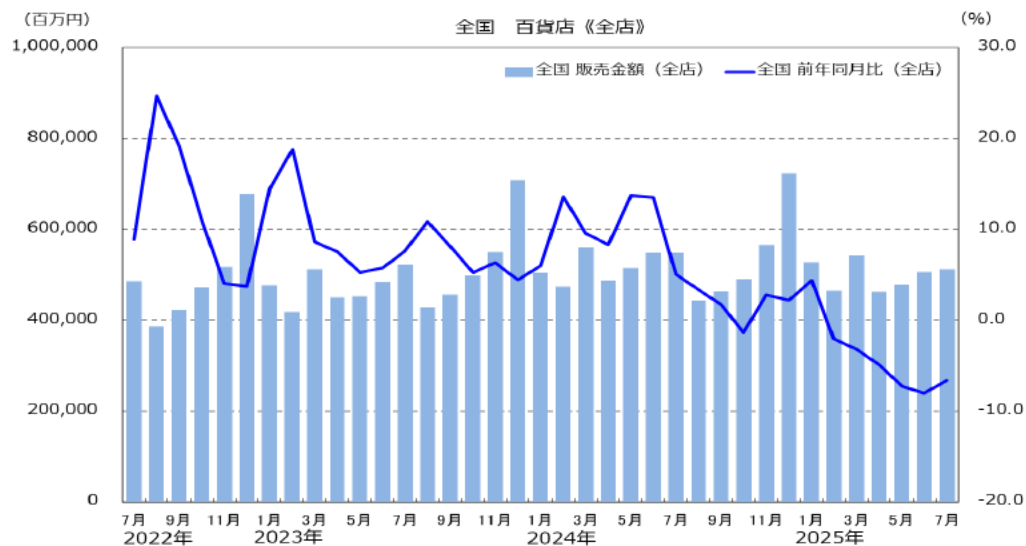
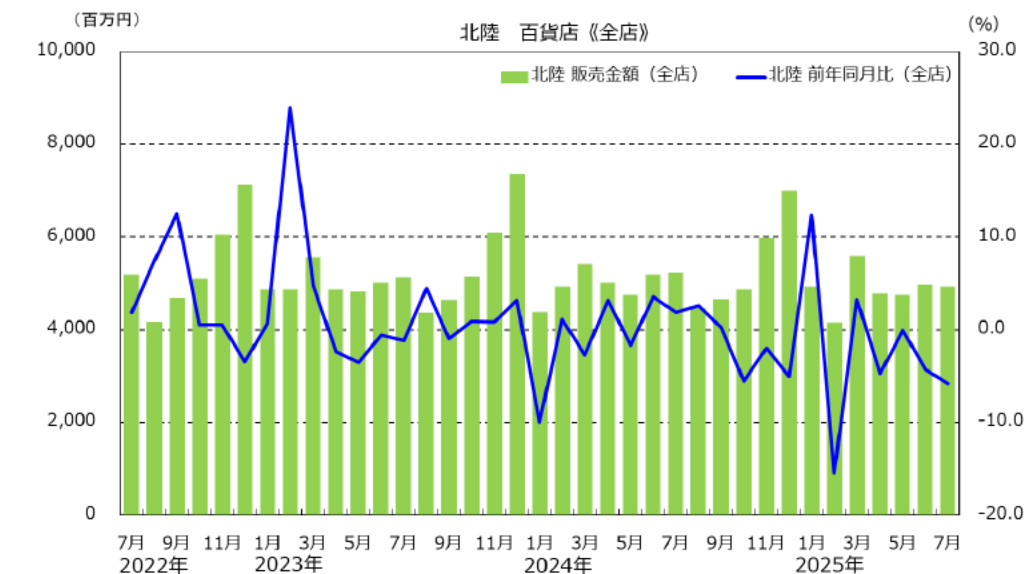
2. 個人消費

(1) 百貨店販売額

百貨店は、4か月連続で前年を下回った。

北陸 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	4,928	▲ 5.8	▲ 5.8

全国 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
百貨店	512,705	▲ 6.6	▲ 6.1

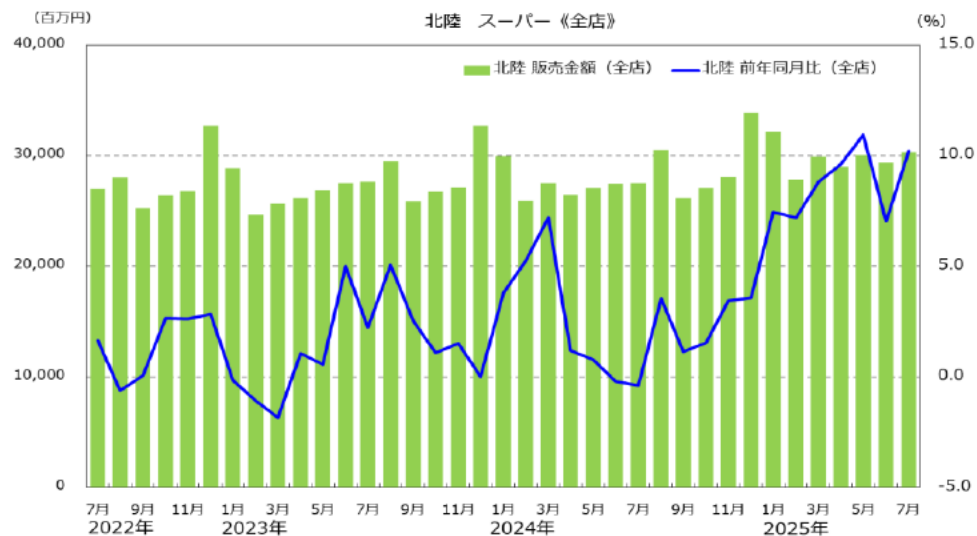


2. 個人消費

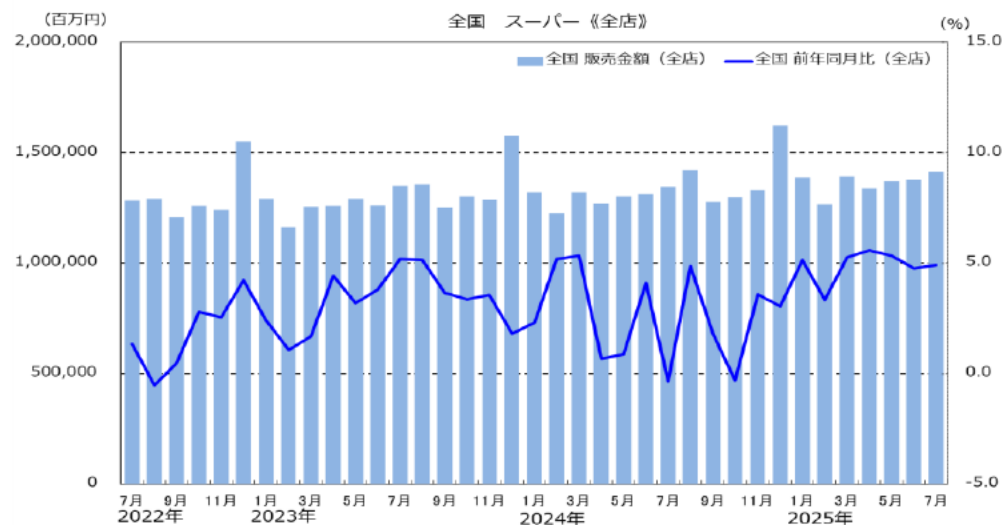
(2) スーパー販売額

スーパーは、12か月連続で前年を上回った。

北陸 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	30,322	10.2	3.9



全国 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
スーパー	1,413,151	4.9	3.1



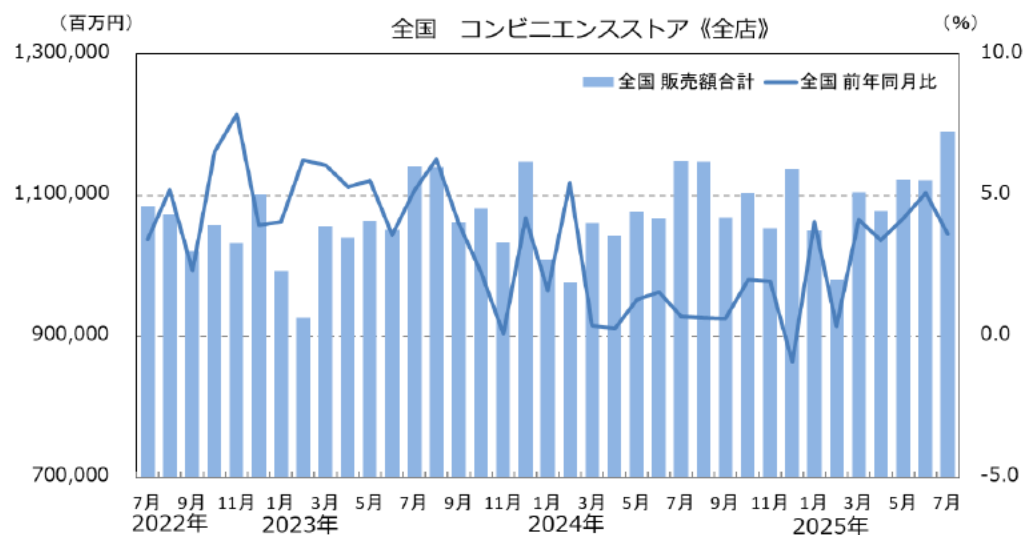
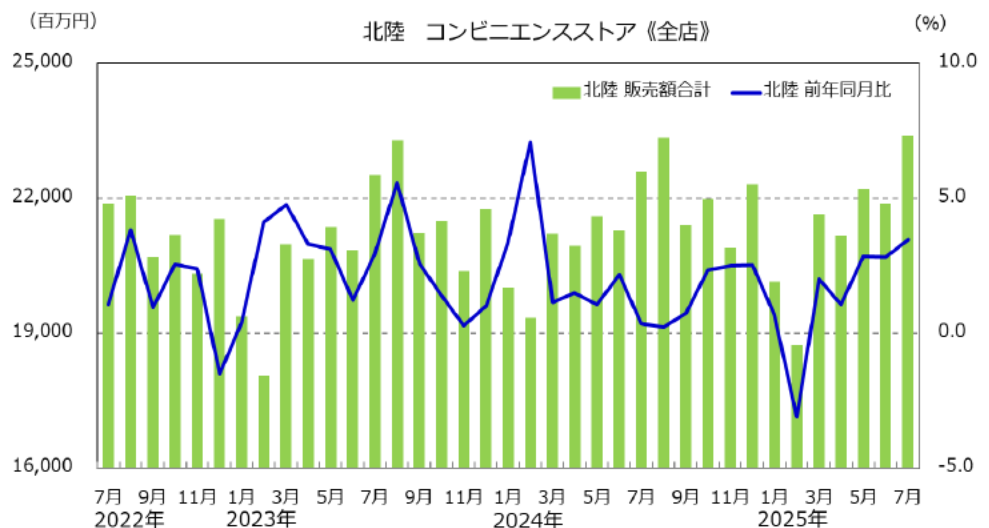
2. 個人消費

(3) コンビニエンスストア販売額

コンビニエンスストアは、5か月連続で前年を上回った。

北陸 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	23,380	3.5

全国 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
コンビニエンスストア	1,189,964	3.6

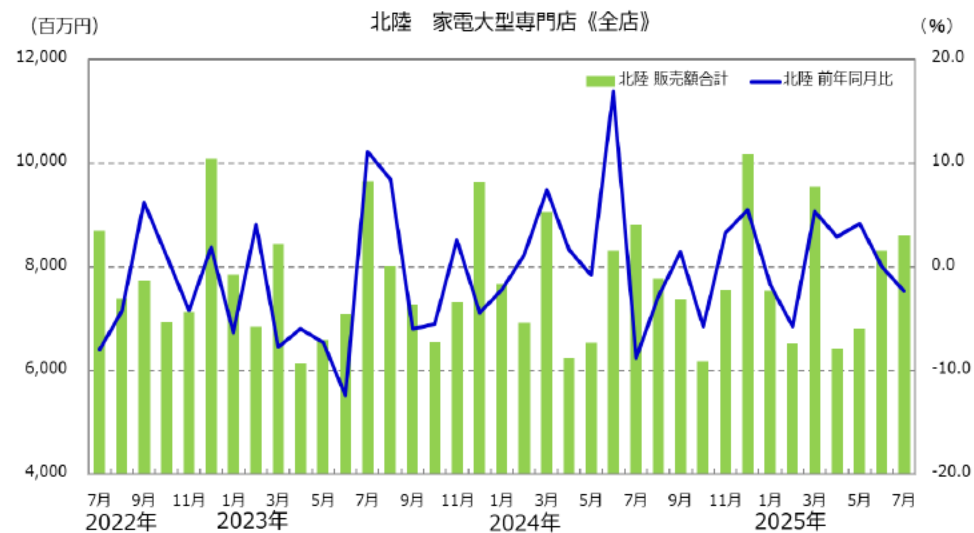


2. 個人消費

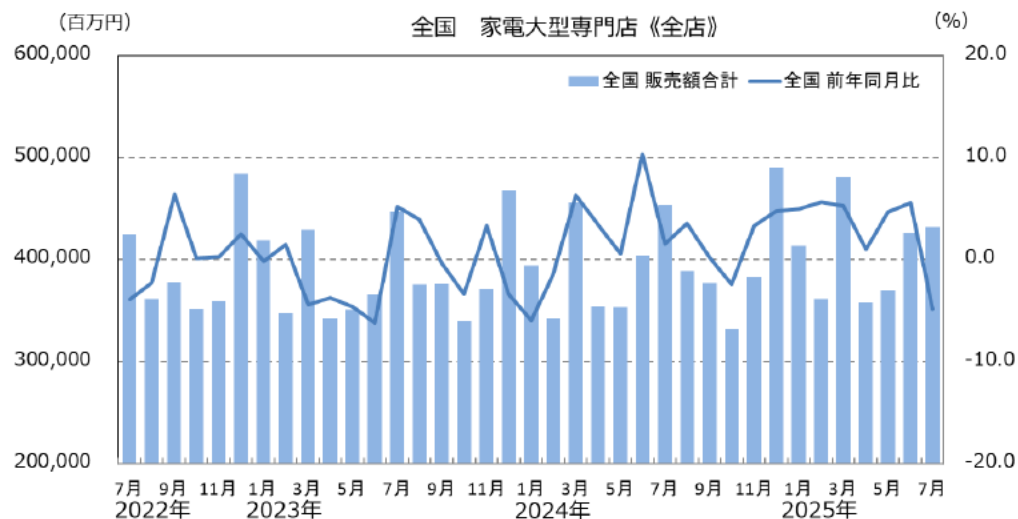
(4) 家電大型専門店販売額

家電販売は、2か月連続で前年を下回った。

北陸 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	8,600	▲ 2.4



全国 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
家電大型専門店	432,032	▲ 4.8



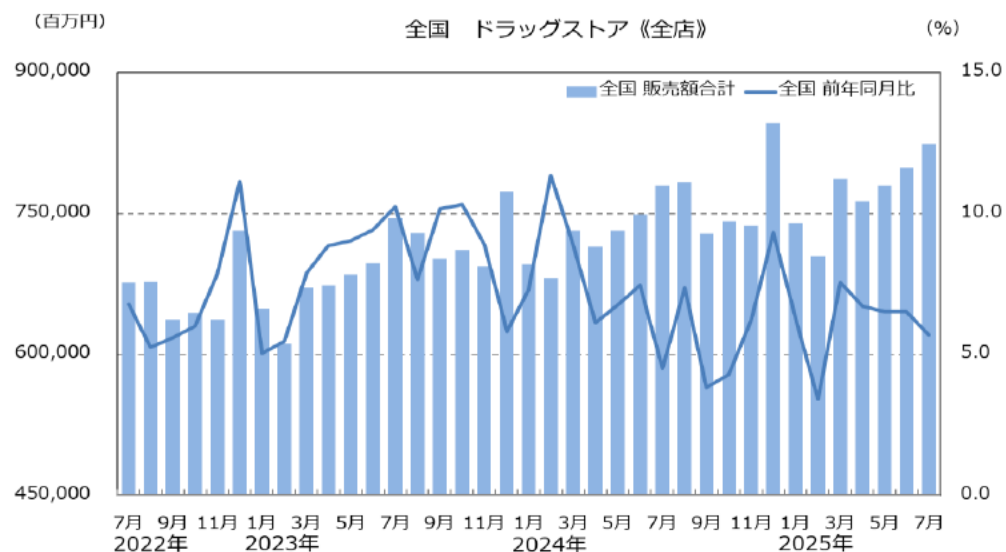
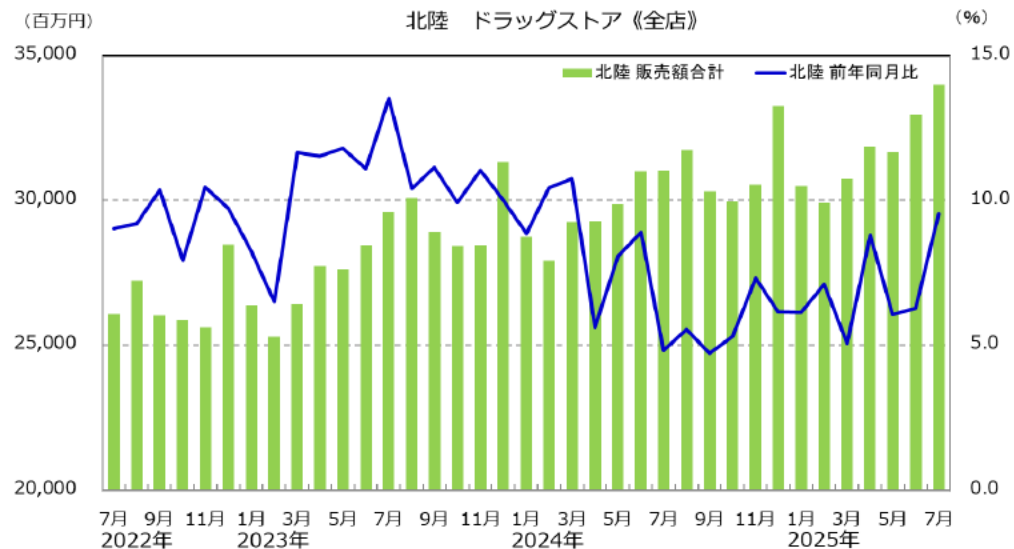
2. 個人消費

(5) ドラッグストア販売額

ドラッグストアは、51か月連続で前年を上回った。

北陸 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	33,982	9.5

全国 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ドラッグストア	823,592	5.7



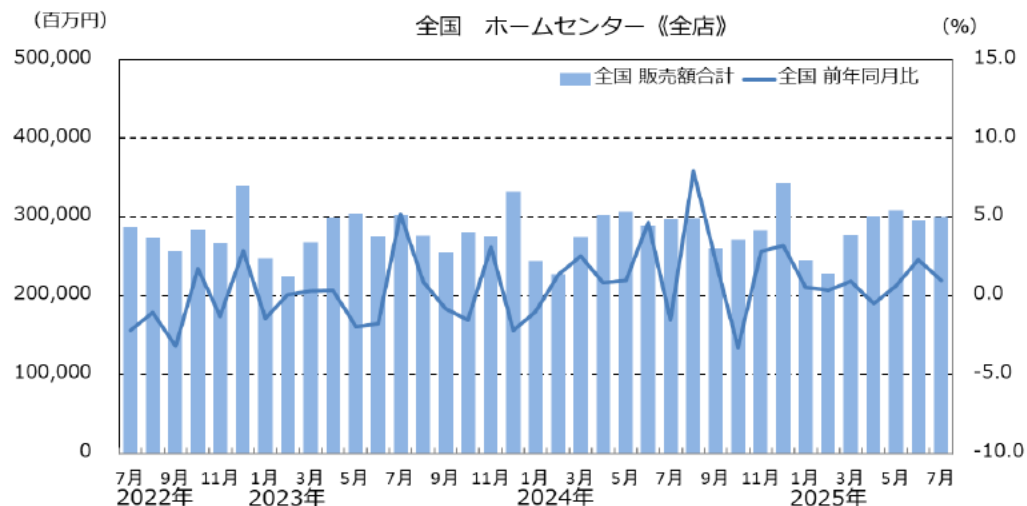
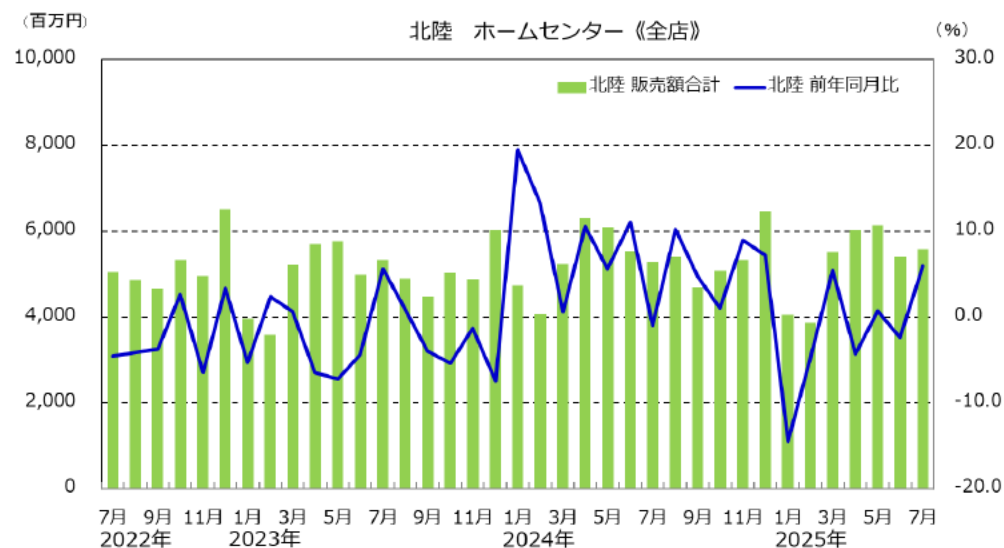
2. 個人消費

(6) ホームセンター販売額

ホームセンターは、2か月ぶりに前年を上回った。

北陸 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	5,581	5.9

全国 7月速報値	販売額：百万円 (全店)	前年同月比 (全店)
ホームセンター	300,610	1.0



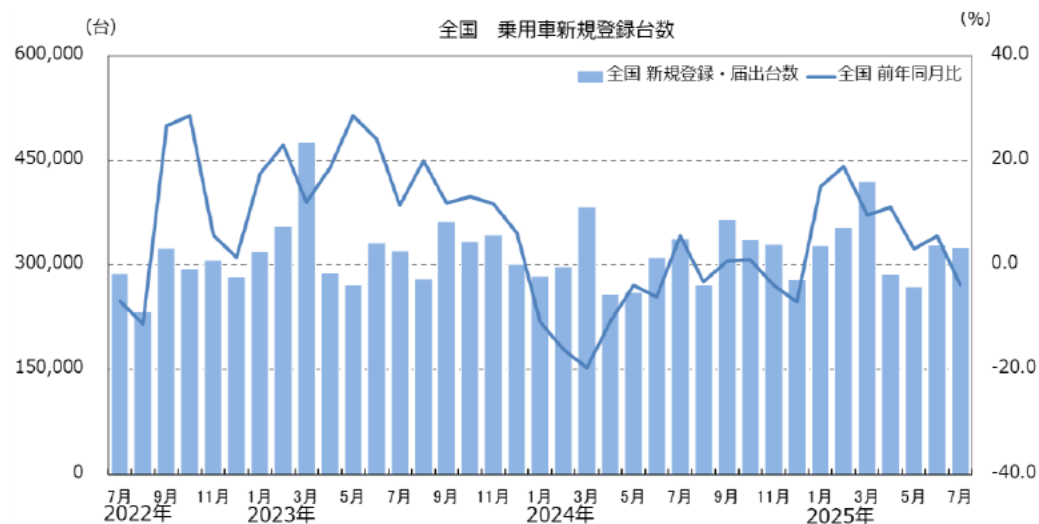
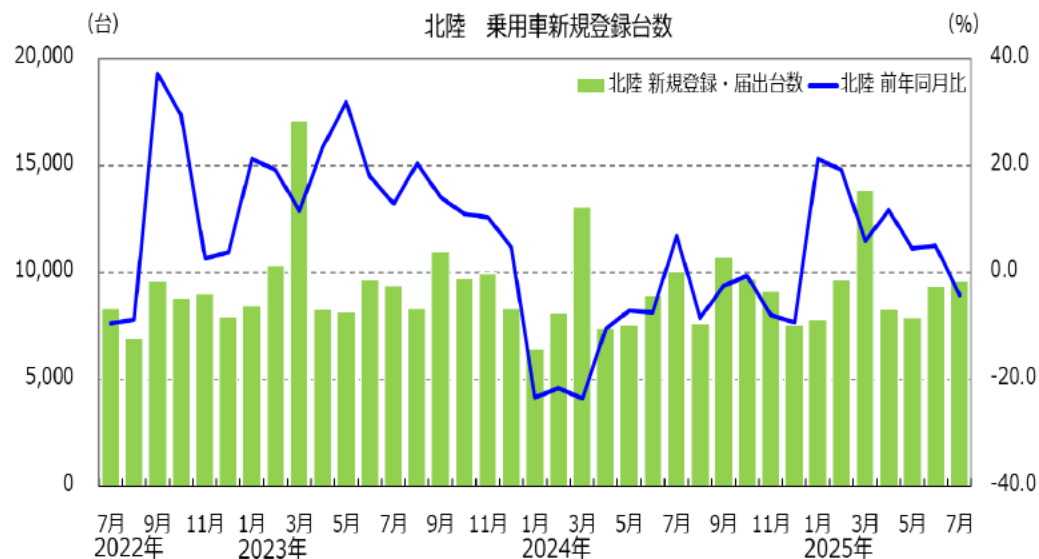
2. 個人消費

(7) 乗用車新規登録・届出台数

7か月ぶりに前年を下回った。

北陸 7月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	9,605	▲ 4.3

全国 7月	新規登録・届出台数	前年同月比
乗用車	325,732	▲ 3.8



(出所) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

3. 設備投資

設備投資は、全産業、製造業、非製造業において、前年度を上回る計画となっている。

北陸地域の設備投資計画等

(前年度比・%)

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度計画
全産業	14.6	2.3	31.7
製造業	26.8	1.7	52.6
非製造業	3.0	3.0	7.4

(出所) 日本銀行金沢支店（北陸短観2025年6月調査）

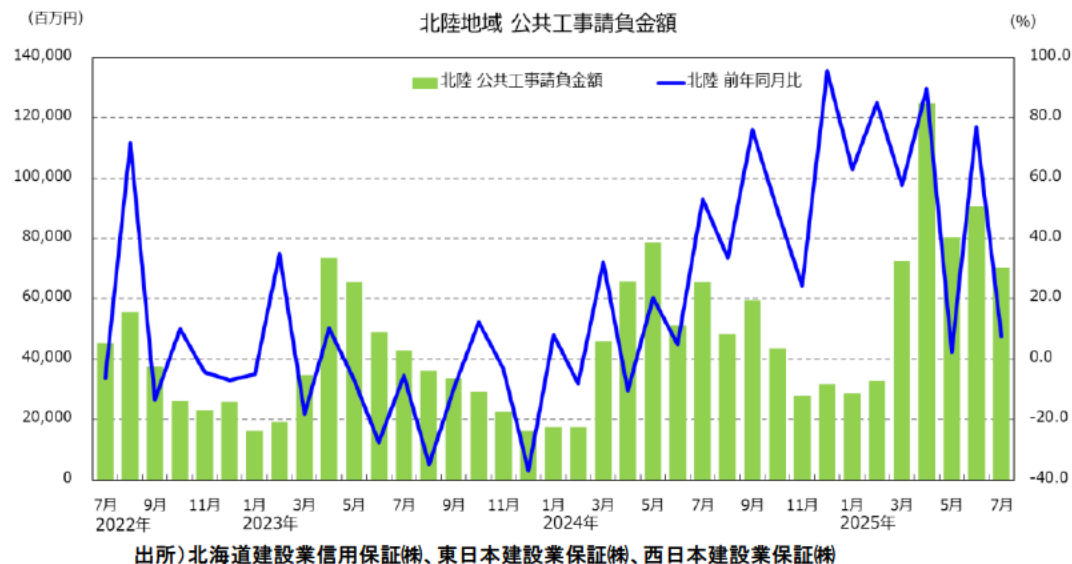
(注1) 調査対象企業は、資本金2千万円以上の民間企業（「金融機関」及び「経営コンサルタント業、純粋持株会社」を除く）。

(注2) ソフトウェア投資額・研究開発投資額を除くベース。

4. 公共投資

請負金額は、15か月連続で前年を上回った。

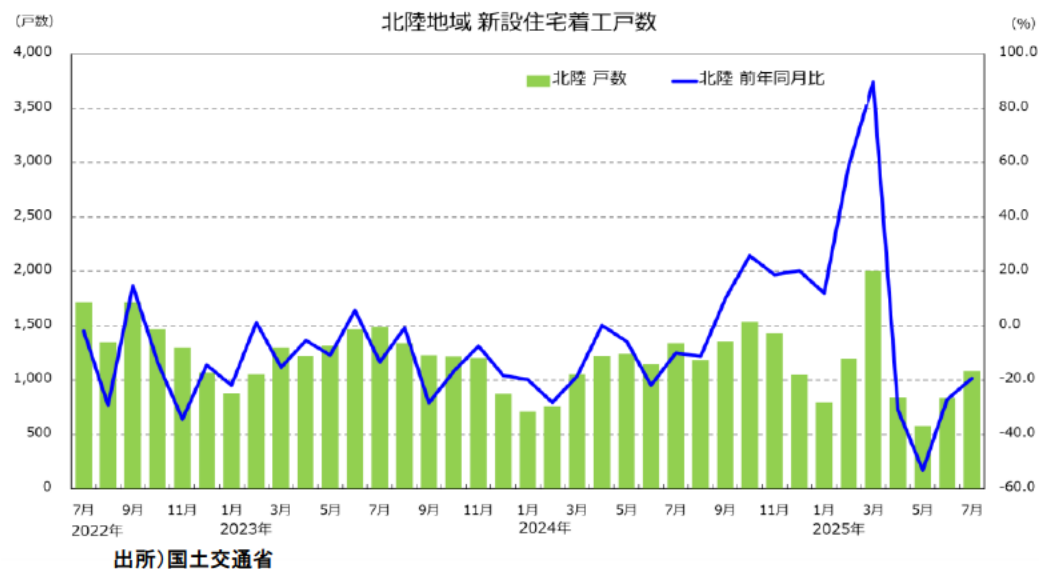
7月	総額 (百万円)	前年同月比
公共工事請負金額	70,471	7.5



5. 住宅投資

新設住宅着工戸数は、4か月連続で前年を下回った。

7月	戸数	前年同月比
新設住宅着工戸数	1,080	▲ 19.3



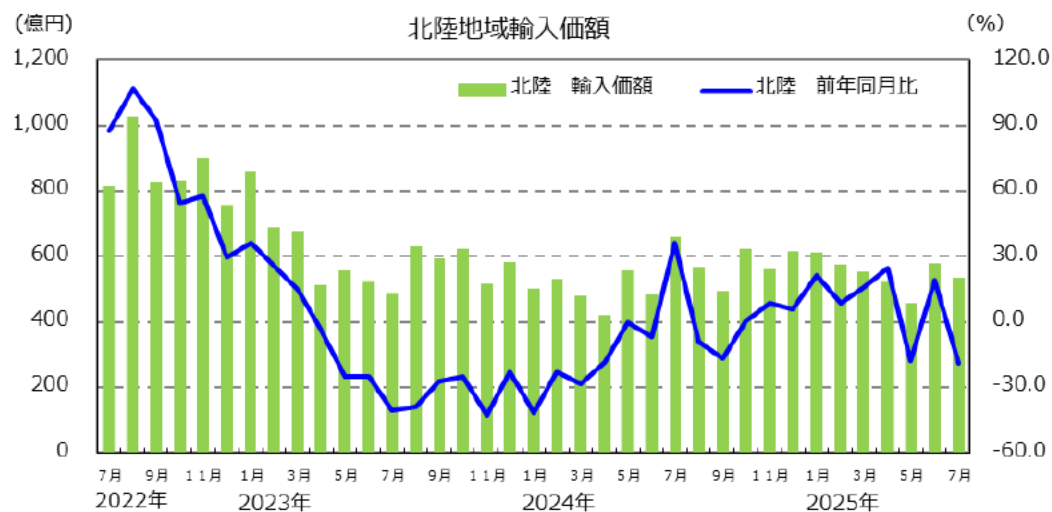
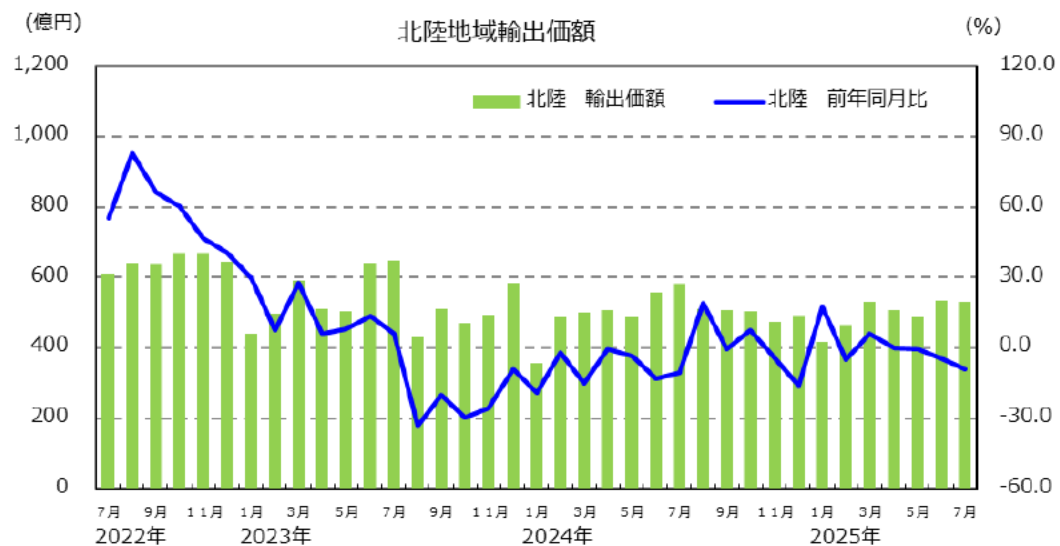
6. 貿易

(1) 輸出
4か月連続で前年を下回った。

7月	輸出価額 (億円)	前年 同月比
北陸地域	529	▲ 8.9

(2) 輸入
2か月ぶりに前年を下回った。

7月	輸入価額 (億円) p	前年 同月比
北陸地域	534	▲ 19.1

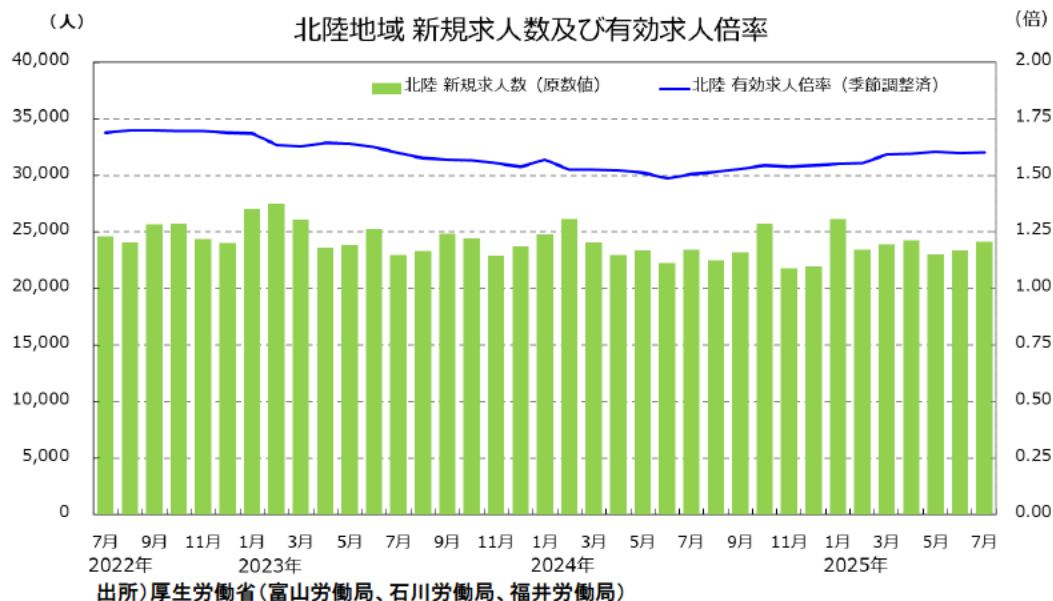


出所) 大阪税関

7. 雇用

新規求人数は、2か月連続で前年を上回り、有効求人倍率は前月と同値であった。

7月	上段：倍率 下段：人数	前年同月比
有効求人倍率	1.60	—
新規求人数	24,142	3.1



8. 企業倒産

企業倒産件数は、4か月連続で前年を上回った。

7月	件数	前年同月比
企業倒産件数	27	58.8

